

添付資料 7

ニューズレター



**中日友好大連人才培训中心**  
 日中友好人材育成センター  
 THE CHINA-JAPAN FRIENDSHIP DALIAN CENTER  
 FOR HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT



日中友好人材育成センターは、大連および東北地域の経済発展ならびに日中間における経済関係の緊密化に資するビジネス人材の育成を目指す、大連市政府と国際協力機構(JICA)の日中共同プロジェクトです。

• 生産管理研修 •

安全月間を機会に実施された 安全教育「ゼロ災セミナー」

中国安全生産科学研究院および  
 JICA 専門家の協力により実施



現在中国政府は中国産業界において急増している安全衛生問題を解決するため、日本の中央労働災害協会とのプログラムに準拠した安全生産向上活動を JICA の協力の下に全国展開するため、国家安全生産監督管理総局を設置し、中国安全生産科学研究院を中心とした国家プロジェクトとして推進している。中国安全生産科学研究院は JICA 専門家の指導の下に、現在本溪市、寧波市などの地方において安全生産活動を展開している。

今回のセミナーにおいては、現在全国へ出かけて安全生産活動を推進している中国安全生産科学研究院専門家の協力により、6月27日に経営トップ向けセミナー「現状と政策からみた中国における安全生産と今企業に求められているもの」などの講演を日本語から中国語への同時通訳で、6月28日に実務者セミナーを中国語により、日本国中央労働災害協会の安全プログラム (KYT) の実地訓練を実施する機会を得ることが出来た。

両セミナーとも100人を超える多くの参加者を得て盛況であった。

ゼロ災運動とは、「労働災害は本来あってはならないもの(ゼロ)」であり、このゼロを出発点に安全衛生管理活動を展開するという運動である。そこで使われる「危険予知訓練」

(KYT)と「指差し呼称」は日本で開発され、人間尊重の理念を職場で具体的に実践できる形にした手法である。この研修で運動の理論を理解し、手法を身に付け、それを実践することが、職場から災害を無くす第一歩である。



KYT (危険予知訓練) とは

ゼロ災運動の中核となるKYT (危険予知訓練) とは、従業員の安全確保のために日本国中央労働災害協会において組織化された安全プログラムであり、指差呼称・イラストシート・4ラウンド法などを使った実地トレーニングであり、参加者は6人のグループを編成して、討議し、声を掛け合い、結果発表を行った。



日中人材育成センター生産管理研修科目

5S講座	原価改善(ムダトリ)
現場管理者の心得	設備管理 (TQM)
品質改善 (ポカヨケ)	工程管理
安全管理 (KYT)	日本式管理



## ・ ビジネスマナー研修 ・

### 日本商工会 会員企業向けの ビジネスマナー特別講座を開催



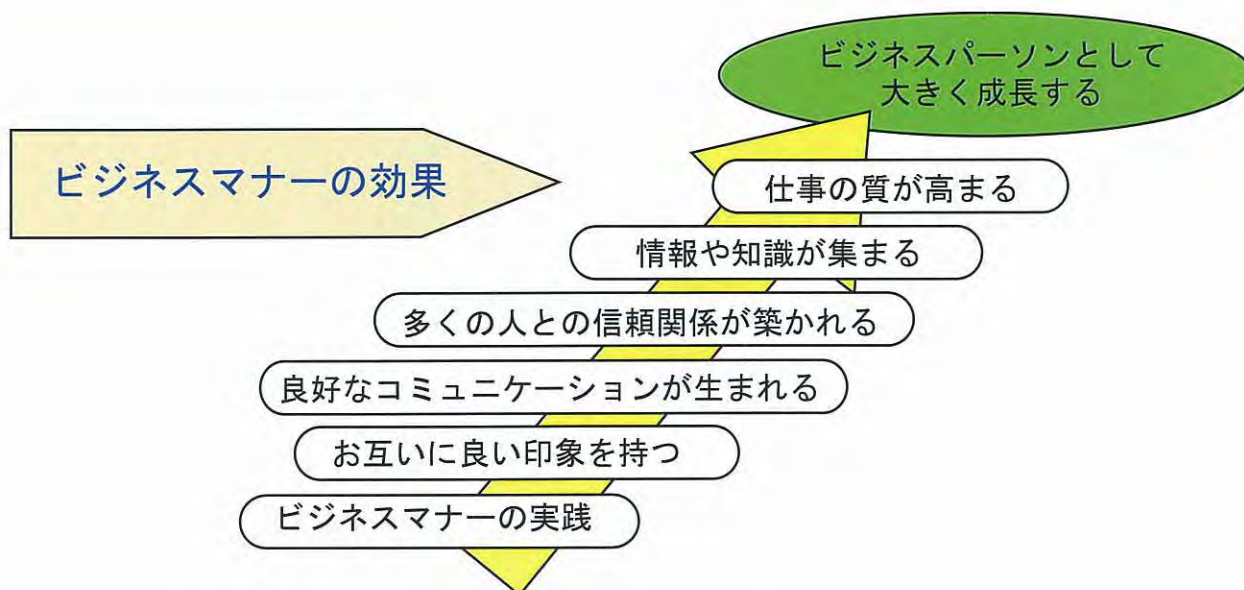
2008年9月6日（土）、9月13日（土）の2回にわたり、日本商工会 会員企業向けにビジネスマナー特別講座を開講しました。初回は「ビジネス場面の敬語」（90分）、2回目は「他社訪問時のマナー」（90分）と業種にかかわらず人気の高いメニューをご用意したところ、いずれも定員30名を大きく上回るお申し込みを頂戴し、各講座の定員を50名様まで拡大し実施いたしました。ご参加いただいた企業は、製造業からサービス業まで幅広く、管理者層クラスの皆様方が、当センターのビジネスマナー研修メニューをご体験くださいました。「基礎を改めて楽しく確認できた」、「自社の社員教育に活かしたい」などのコメントを頂きました。

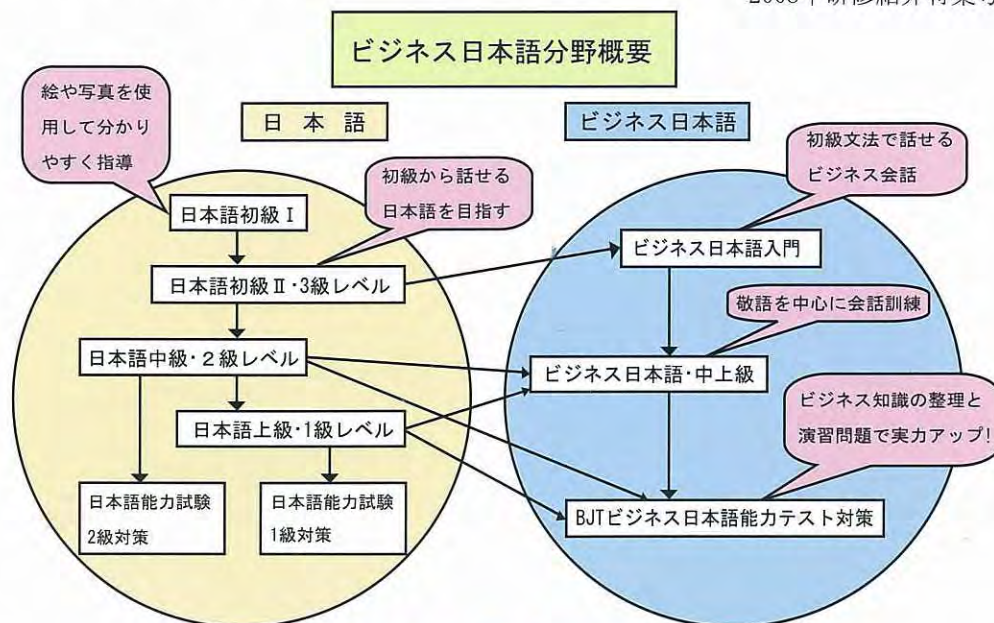
### 日中友好人材育成センターの ビジネスマナー研修&企業研修

当センターのビジネスマナー研修や企業研修は、座学のみではなくロールプレイングをふんだんに盛り込み、即現場に活かせるプログラムになっています。90分単位で気軽にご受講いただける敬語や電話対応、訪問時のマナー、来客対応などの講座から、1日コース、5日間コースなど、お客様のニーズに合わせてビジネスマナーの基礎全般を学んでいただけるプログラムもご用意しています。ビジネスマナー以外の研修メニューとしては企業研修も承っております。職種別に顧客対応コミュニケーション講座、階層別（新入社員、一般社員、中間管理職、管理職別）にご要望に合わせてカスタマイズした企業研修プログラムをご提供します。

#### <これまで実施した企業研修内容>

- ◆新入社員研修（ビジネスマナー、報告・連絡・相談、PDCAサイクル、コミュニケーション）
  - ◆顧客対応コミュニケーション研修（相手のニーズを正確に把握して的確なコミュニケーションスキルを身に付ける）
  - ◆コミュニケーション強化研修（コミュニケーションスキルを高める／異文化コミュニケーション／クレーム対応 など）
- 御社の社員教育に是非お役立てください。お問い合わせをお待ちしております。





・ **ビジネス日本語研修** ・

**○ビジネス日本語分野概要**

日本語初級からビジネス日本語上級まで日本語の全てを教えています。大連では「ビジネス日本語」を身につけた人材の需要が高まっていますが、当センターでは、日本語のレベルに応じた「ビジネス日本語」が学べるように上記のような研修を設定して、皆様のご要望にお答えしています。

また、「日本語能力試験1級・2級対策」「BJTビジネス日本語能力テスト対策」研修も実施し、ビジネス人材の育成に努めています。

**○効率よく効果的な研修**

当センターはコンピューター、プロジェクター、音響設備等々が完備しておりますので、これらを十二分に使いこなして、効率よく効果的に研修を進めております。

**○公募研修と企業研修**

上記の公募研修の他に、各社のニーズに合わせたカリキュラムを作成して企業研修も多



授業風景

数実施しております。これまでに「日本語能力試験2級対策」「日本語初級・中級・上級」「ビジネス会話」「BJTビジネス日本語能力テスト対策」「電話による会話試験」等々を実施いたしました。

**○研修終了後のアフターケア**

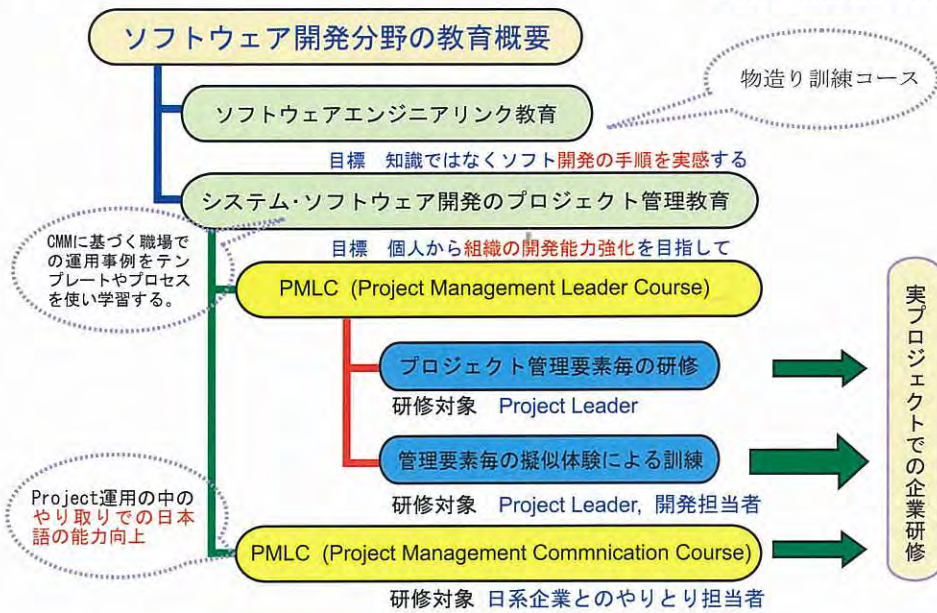
研修生とは研修終了後も連絡を取り、疑問点があるときは、いつでも電話やメールで受け付けてすぐに回答をして、研修生を支援しています。

**○経験豊富な専門家**

ビジネス日本語担当の専門家は日本での企業実務経験が豊富で、これまで日本国内で10年、中国、インド、マレーシア等々の海外で10年以上日本語教育に携わってきたベテランです。彼の指導の下、当センターの教師は日夜研修に励んでおりますので、安心して皆様のご研修をお任せください。



研修生と一緒に



## ・ソフトウェア開発研修・

### プロジェクト管理研修で訓練研修を強化

CMMIに基づく職場での運用事例の研修を実施していますが、具体的な運用の理解と定着を目指し訓練を主体とした研修を開始しました。現在は進捗管理とWT(Walkthrough)の2科目で訓練研修を実施しています。一方プロジェクト管理要素の研修は要素毎に研修を分割して科目辺り原則1日(3H)とし受講し易い様に工夫しました。

### 技術移転先(CP)の職場復帰に伴い技術移転が本格始動

IT日本語分野のCPの職場復帰に伴い専門家からの技術移転が始動しました。ソフト開発PJ管理内の日本語Communicationは9月より崔専門家から進めています。滞在の限られる矢島専門家からはCPによる11月の模擬研修と12月の本研修の実施に向けて集中的な技術移転を実施しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

日中友好大連人材育成センター

住所：大連市沙河口区中長町26号

TEL：0411-8452-8859

FAX：0411-8452-8891

URL：<http://www.cjdhc.cn/>

※当センターは、日中双方政府の協同プロジェクトによる公的な機関です。研修事業で得られた収入は、センター運営に必要な費用に充当いたします。

### ソフト物造り訓練コース

訓練主体のソフトエンジニアリング教育を立上げ中です。疑似職場での業務訓練を通じて実配属先での即戦力を目指すのを目的に疑似開発職場(組織/環境)の体験や個人毎に設定した開発課題(仕様)を開発完了迄の開発手順の体験・訓練を行います。各種の切り口での応用コースを準備しますが2009年2月より本コースを開講予定にしています。



- ①大連市内から車でおよそ20分
- ②開発区から車でおよそ30分
- ③沙河口区駅から徒歩3分

\* 交通大学校舎の隣です。



中日友好大連人才培训中心  
日中友好人材育成センター  
THE CHINA-JAPAN FRIENDSHIP DALIAN CENTER  
FOR HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT



日中友好人材育成センターは、大連および東北地域の経済発展ならびに日中間における経済関係の緊密化に資するビジネス人材の育成を目指す、大連市政府と国際協力機構(JICA)の日中共同プロジェクトです。

## 研修案内

当センターでは、ビジネス日本語、経営管理、生産管理、ソフトウェア開発・プロセス管理の4分野で「日本語を核とするビジネス教育」と「日本ビジネスの現場専門ノウハウ教育」を特色とする質の高い研修活動を実施しております。

### 【日本語部】

#### 1. 基礎日本語

学習者の日本語のレベルによって、初級、中級、上級クラスを設けている。

##### 初級

初心者を対象にし、「新標準日本語 初級」を使い、同時に「みんなの日本語」などの教材も利用して、解説と練習を行う。絵や写真やマルチメディアを多数用いて分かりやすく解説する。反復練習を通して、学習者の会話能力を養う。

前半が修了した時、簡単な文章が書け、簡単な日常会話ができるようになる。日本語能力試験4級のレベルに達する。後半が修了したら、日本語能力試験3級のレベルに達する。

##### 中級

日本語能力試験3級あるいは3級以上の学習者を対象とする。「進階日本語・中級」「新標準日本語・中級」を教材とし、センターのオリジナル資料も併用して、学習者の効率的な理解を促す。修了後、日本語能力試験2級レベルに達する。

##### 上級

日本語能力試験2級あるいは2級以上の学習者を対象とする。「進階日本語・中級」を教材とし、日本語上級の文法と語彙を体系的に学ぶ。日本語能力試験1級の出題範囲を満たす授業内容とし、試験合格のための実践訓練も行う。

#### 2. ビジネス日本語

会社員、あるいは企業に就職することを目指している学生を対象にしている。学習者の日本語のレベルによって、初級、中級、上級クラスを設けている。センターの内部資料を使って、挨拶、許可、依頼、提案・申し出、電話応対、企業訪問などのビジネス場面における会話を身につける。同時にビジネス場面で重要な敬語の使い方の訓練も行う。

#### 3. 日本語会話

日本語の会話が上手になりたい学習者を対象とする。学習者の日本語のレベルによって、初級、中級、上級クラスを設けている。絵カードを使用して、絵を見ながら、学んだ文型を使って滑らかに会話ができるように練習をする。

日本語らしいアクセント、抑揚で話せるように指導する。語彙量を充実させるとともに、日本文化についての解説も取り入れ、会話の背景の理解を促す。

#### 4. 日本語聴解

日本語の聴解力のアップを目指している。日本製の音声と録画資料を使用して、マルチメディアの教育を行う。生き生きとした最新の音声と録画資料を利用し、聴解の練習とともに日本の文化と日本人の生活も紹介する。全部を聞き取るのではなく、必要な部分だけを確実に聞き取れる習慣が身につくように「聞き取りのノウハウ」を指導する。

#### 5. 試験対策

日本語能力試験(1級~4級)、BJTビジネス日本語能力テスト、J-TEST(A-D級、E-F級)の対策クラスを設けている。センターの内部資料を使って、各種試験の特徴に応じて、また、受講生の日本語のレベルによって、効率的な方法で試験の前に復習をする。長年の経験がある日中の双方の講師が、試験の重点項目を解説する。受講生の弱点を改善し、日本語の能力を高める。



## 【生産管理部】

### 1. 生産管理研修

生産管理部の研修は、5S、現場管理者の心得、ポカヨケ、ムダトリ、TPMなど、現場密着型改善を中心とした日本式生産管理を主体に編成し、多くの事例を用いて分かり易い説明を心がけた講座であり、1講座の研修時間を3～6時間（中国人又は日本人講師による講義、日本人の場合には中国語通訳付き）とコンパクトにまとめている。

### 2. 生産管理研修内容（3時間又は6時間）

#### （1）5S（現場管理の要点）講座

日本式現場管理の要点である5Sについて、5Sの内容紹介と5Sに期待される効果などについて、事例を基に5Sを使った現場改善の進め方を解説する。

#### （2）現場管理者の心得講座

現場管理者が直面する生産日程管理、労務管理、品質管理、技能教育及び安全管理など、現場で直面する問題を解決するための基本方針を「現場管理者の心得」として学習する。

#### （3）品質改善（ポカヨケ）講座

現場での品質管理に必要な不良発生のプロセスやその対策方法について解説し、特に問題解決が難しいヒューマンエラーに対する回答の一つであるポカヨケについて、多くの事例を使って品質改善の進め方を学習する。

#### （4）原価低減（ムダトリ）講座

原価低減活動において、原価管理の仕組みと原価低減活動について製造関係者が理解すべき内容を解説し、特に製造現場で実施できるムダトリによる原価低減活動に関して事例を使って学習する。

#### （5）安全管理（KYT）講座

現場管理者として最大関心事である安全管理について、ヒヤリハット集、KYT（危険予知訓練）などについて、多くの事例を使って安全管理を徹底する手法を事例研究などを通して学習する。

#### （6）設備管理（TPM）講座

製品品質や製造コストを大きく左右する設備保全について、生産工程で発生するロスを最小にするための手法、最小費用法、TPM（Total Productive Maintenance）など効率的な保守・保全手法について学ぶ。

#### （7）日本式管理講座

日系企業に勤務する製造現場管理者として理解すべき心得として、日本式雇用制度の特徴、カンバン方式など日本式生産管理の概要、現場密着型改善活動や全員参加型品質管理を分かり易く解説する。

#### （8）工程管理講座（PDCA）

生産計画通りに工程管理を実行すべき製造現場関係者が理解しておくべき工程管理活動の内容について、生産計画の立案から、進捗管理、納期管理、現品管理などの業務の流れと、それに伴う情報連携に関して学習する。



## 【経営管理部】

### 1. ビジネスマナー分野教育概要

ビジネスコミュニケーション分野のカリキュラム全体概要は、以下の表のとおりです。これらのカリキュラム・メニューの中から、2時間や3時間を1講義として公募型研修を実施しています。→例：「ビジネス場面の敬語」、「ビジネス場面の電話応対」、「他社訪問時のマナー」、「来客応対」、「ビジネス文書とEメール」、「ビジネスマナー基礎(1日コース)」など。

公募型研修の直近スケジュールは、ホームページ<http://www.cjdhc.cn/>をご覧ください。企業単位でも個人でもお申込が可能です。(日系企業、または日本語で仕事を行う中国人の方を対象としています)

カリキュラムは体系的に組み合わせた研修パッケージとしても企業の皆様にご提供いたします。さらに、お客様のご要望に応じて様々な研修カリキュラムの組み合わせが可能です。当センター教室での実施、あるいは企業様に訪問して実施する形態のいずれでも承っております。詳しくは、8452-8818鄭(日本語可)までお問い合わせをお願いします。

### 2. ビジネスマナー分野教育カリキュラム

研修パッケージ	分類	テーマ	カリキュラム	対象	
新入社員研修	基礎	組織論	1) 組織の基礎知識	新入社員	
			2) 企業理念・ビジョン・行動指針		
		的確な職務遂行に要求される能力	3) 仕事をするための基礎知識		
			4) 学生と社会人の違い		
			5) プロフェッショナルとしての心構え		
			6) 仕事に必要な7つの意識		
			7) 仕事の進め方 ① 成功に導く4つのステップ (PDCAサイクル) ② 報告・連絡・相談 ③ 指示の受け方・報告の仕方		
			8) ビジネス場面の人間関係		
			言葉遣いと接遇		1) 第一印象の重要性 (身だしなみ・表情・態度・あいさつ)
					2) ビジネス場面の敬語(上司・お客様への言葉遣い)
		3) ビジネス電話応対			
		ビジネス文書	4) 来客応対		
			5) 他社訪問時のマナー		
6) ビジネス文書 (社内文書・社外文書)					
7) ビジネス文書 (Eメール)					
8) ビジネス文書 (PCソフト基本操作)					
コミュニケーションスキル向上	専門	ビジネス場面のコミュニケーション	1) コミュニケーションの基本 2) 異文化コミュニケーション 3) 効果的なプレゼンテーション	新人～ 中間管理職	
		問題解決 (顧客対応)	1) お客様とのコミュニケーション 2) クレーム対応 (問題分析～改善までのステップ)		
		問題解決	コーチング (部下指導手法)	管理職	
CSレベル向上	顧客心理の理解	1) CS(顧客満足)とは 2) CSの基本ステップ	新入～ 管理職		
就職面接対策研修	就職面接対策	履歴書の書き方・面接試験合格のポイント	大学生/ 社会人		
厚生労働省認定秘書技能検定合格対策	秘書技能検定対策講座	1) 必要とされる資質	大学生/ 社会人		
		2) 職務知識			
		3) 一般知識			
		4) マナー・接遇			
		5) 技能			





## 【ソフトウェア開発部】

- ①ソフト開発業務への早期対応コース(DB編) 2009/2月～6月(3週間/コース)  
 ②システム・ソフト品質管理強調月間 4月  
 ③システム・開発計画と進捗管理の改善月間 5月  
 ④仕様に基づく不具合の根絶月間 6月

研修番号	講座名称	時間(H)	研修概要
PMT10	ソフト開発PJ運用の実際	3	ソフト開発PJ管理の要点が判りその運用を着実に進める工夫を学ぶ。
PMT20	ソフトウェア(開発)プロジェクトの計画策定	3	種々の管理の見地からのソフト開発プロジェクトの計画作成方法を学ぶ。
PMT30	ソフトウェア(開発)プロジェクトの品質管理ソフトウェア設計結果のレビュー方法	6	ソフト開発の品質を高める手法を品質管理の方法と各々の設計結果のレビュー方法の2つの方法で学ぶ。
PMT32	設計結果検査訓練	6	レビュー対象となる設計書例を元に各種の役割を決め設計結果の検査(WT)会議を実施する訓練を行う。
PMT40	ソフトウェア(開発)プロジェクトの進捗管理	3	ソフト開発計画に基づく着実な進捗管理の方法を学ぶ。
PMT41	進捗報告と進捗会議訓練	6	各自に擬似設定した進捗状況の進捗報告訓練と進捗管理責任者と開発担当者の役割に基づく進捗フォロー会の実施の訓練。
PMK06	抜けのないソフト開発仕様の変更管理方法	3	ソフト開発の最中に発生する仕様変更に対する対処方針と管理手順により抜けの発生しない管理方法を学ぶ。
PMK07	間違いないプロジェクト成果物の構成管理	3	ソフト開発PJで作られる設計やコーディング結果等のPJの成果を変遷と共に確実に管理する工夫や運用を維持する方法を学ぶ。
PMK08	プロジェクトのリスク予測と回避に向けた管理	3	ソフト開発PJに立ちほだかる数々のリスクを予測し実現を回避する為の管理の方法を学ぶ。
PMK09	ソフトプロジェクトのテスト・試験検査計画	3	ソフトプロジェクトのテスト・試験検査計画作成とその品質を高める工夫を学ぶ。
PMK10	QCP再現出来る手順や品質の実現を目指して	3	品質を安定させる為のプロセスや設計図の標準化とそれを改善定着することの重要性を学ぶ。
PMK11	MS-Projectを使った日程立案と進捗管理	3	MS-Projectを使っての開発計画の立案と進捗管理方法を学ぶ。
PMK31	IT技術者向け基礎日本語(成果物の理解など)	9	PM運用の中でユーザとのコミュニケーションに必要なIT用語を含めた文章例の精読を通じて日本語によるIT知識の基本を学習する。
PMK32	プロジェクト管理関連書類の理解と作り方	6	PJ管理に必要な各種書類を理解しこれを日本語で作成するやり方を学ぶ。
PMK33	ソフト開発での日中商習慣の相違と注意点	3	日中商習慣の相違を踏まえたソフト開発現場での注意点を学ぶ。
PMK41	IT日本語communication各種運用方法と実習	6	フト開発における日本語での各種の手段での報告やQ&Aなどの運用方法を学ぶ。
PMK62	日本作成の要求仕様書の理解と注意点	6	実際のシステム仕様書例を参照しながら間違え易いポイントや過去の事例を紹介し確認すべき点と仕様の取り間違いを防ぐ方法を学ぶ。
PD010	ソフトウェア開発業務への早期対応コース(DB編)	90	個人毎に開発課題(仕様)を設定し完了迄の開発手順の体験・訓練及び疑似開発職場(組織/環境)の体験を行う。

詳しくはホームページをご覧ください。

日中友好大連人材育成センター

TEL : 0411-8452-8859 FAX : 0411-8452-8891

住所 : 大連市沙河口区中長町26号

URL : <http://www.cjdhc.cn/>

※当センターは、日中双方政府の協同プロジェクトによる公的な機関です。研修事業で得られた収入は、センター運営に必要な費用に充てたいします。



- ①大連市内から車でおよそ20分
- ②開発区から車でおよそ30分
- ③沙河口区駅から徒歩3分

\* 交通大学校舎の隣です。

「日中友好大連人材センターに対する将来の協力計画」

日中友好大連人材育成センターに対する将来の協力計画～技術プロからボランティア派遣への移行と段階的なハンドオーバーのために～  
2009年9月時点

人材センター設立期  
(日本人専門家による指導)

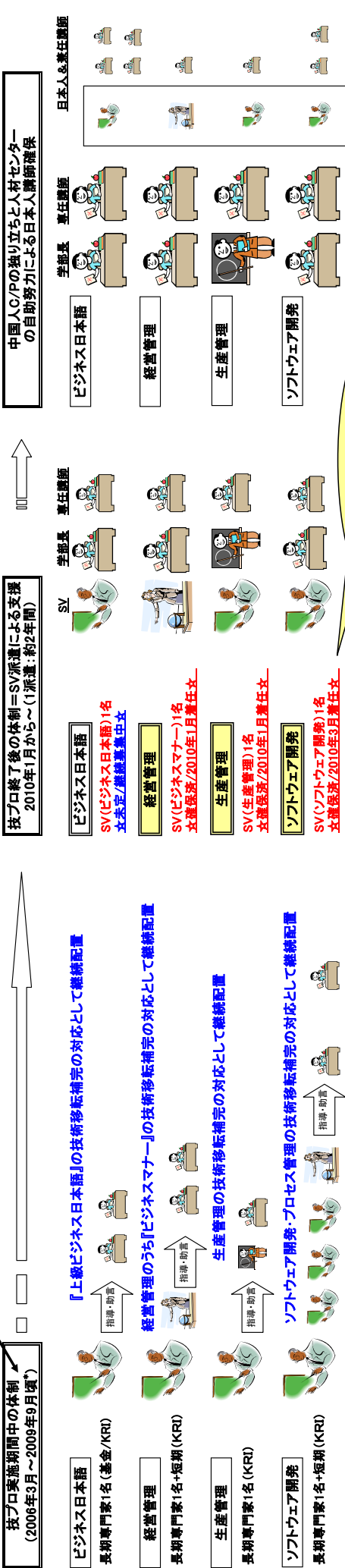
全体期間としては2010年2月頃までと設定し、2010年1月までに10～14日間程度シニアボランティア(SV)との引継ぎを実施(具体的な延長期間は4分野でそれぞれ異なる)

技術プロ実施期間中の体制  
(2008年3月～2009年9月頃)

技術プロ終了後の体制＝SV派遣による支援  
2010年1月から～(1派遣:約2年間)

自立発展体制整備期  
(中国人C/Pが日本人との対等に)

自立発展期(最終目標)  
(中国人C/Pの計画立案のもとで日本人講師が講義)



2年後を見据え、どの分野から人材センターの自助努力で人材を確保するのか今から要検討!

4分野は研修コース開発業務を延長期間から徐々に中国人C/Pに移行  
自立発展期には日本人講師を人材センターが確保し、他国講師も派遣確保  
(大連市科技局及び大連交通大学による支援の継続)

注: KRI(民生技プロ)の「専門家」の数は8ヶ月程度の派遣を「長期」と定義



- 【JICAによる人材センターに対するその他の継続的な支援】
- 防日研修①(政府機関・中国企業との連携強化/2009年11月実施済)
  - 防日研修②(政府機関・主に日系企業との連携強化/2010～2012年度実施予定)
  - 防日研修による案件採択が条件/採択後は人材センターが研修カリキュラム策定につき主体的な役割を果たすことが実施の前提
  - 人材センターの施設活用側面支援(JICA関連事業等の開催に当たり、可能な限り人材センターを活用するよう推奨/適宜)
  - ホールや教室貸し出し体制及び機材の適切な管理体制の構築が前提

祝人材培训中心獲得成功!



↑大連市科技局及び大連交通大学の支援

「日中友好大連人材センターの発展に向けた課題」

# 日中友好大連人材育成センターの発展に向けた課題

以下の左の欄に掲げた課題は、人材センターが着手強化の方向にあるもの。これらの更なる強化により2010年1月までにセンターの自立的発展の基礎を作っていたいただきたい。



既に着手、更なる改善！

**☆情報発信力の強化及び認知度の向上☆**

- ホームページ及びインターネット・Emailの活用  
→ホームページの頻繁な更新とEmail(メールマガジン)による周知
- 各種セミナーの企画・実施  
→4分野それぞれの特徴と現状を踏まえた有料・無料セミナーの開催
- 各種メディアの活用  
→無料もしくはタイアップによる低コストの広報

既に着手、更なる改善！

**☆マーケティング及び営業力の強化☆**

- 顧客獲得  
→営業方針及び年間の大まかな行動計画の策定による重点顧客へのアプローチ
- 顧客管理  
→トータルのあった顧客への手厚いフォロー
- 対外聯絡部と教学部門の情報共有強化  
→ターゲットとなる企業への共同アプローチ

既に着手、更なる改善！

**☆施設・設備の活用☆**

- ホール及び教室貸し出し  
→施設及び備品管理体制の強化及び競合施設調査を踏まえた適切な単価設定
- 維持管理のシステム化  
→管理責任者制の導入などによる施設・設備・機材の維持管理能力向上

☆ボランティア受入れ機関としての準備課題 (2010年1月までに)☆  
 ☆技術移転を受ける側から主体的当事者への意識改革  
 ☆研修コース運営(計画、営業、研修実施、企業コンタクト、ニーズ検討、カリキュラム改善)を中側が進め、ボランティアに相談して力を借りる体制作り

☆ホウレンソウ・情報共有の組織風土づくり  
 ☆ボランティアが働ける環境づくりに「ホウレンソウ」をセンターの組織風土とすることが重要  
 ☆学部C/Pのさらなる日本語力向上も期待される



ボランティアの力も借りて！



**☆財政基礎の安定化と施設・設備の適正な維持管理☆**

- 大連市政府からの継続的な補助金の投入  
→優良講師確保及び施設の適切な維持管理のために必要不可欠→無償資金協力と技術協力プロジェクト実施の前提であり、日本側は今後も適宜状況を確認していく
- 固定顧客からの収入  
→「研修基地化」の推進
- 施設の貸し出し収入  
→日本商工会、市政府、各種交流協会、企業向け広報の強化

最重要事項！

**センター自立発展のための重要課題**



**☆2010年以降を展望した研修カリキュラム策定能力強化☆**

- 4分野の研修コース運営の発展  
→ニーズと対応能力の分析(「やりたいこと」と「やれること」の明確化)  
と講師陣に見合った研修コースの策定  
→外部講師(交通大学、3大学の講師、その他)を活用して行う研修コース
- 訪日研修と連動したカリキュラムの策定  
→JICAの支援による3か年の訪日研修をどのようにそれ以降の研修カリキュラムに反映していくか？

**☆センター講師の安定的な確保☆ (＝専門家バンク構築の具現化)**

- センター専任C/Pの長期固定配置
- 交通大学教員兼務C/P(兼務講師)の管理運営の体制確立  
→交通大学兼務C/Pがセンター職務に従事できる仕組み・処遇
- 他3大学教員のセンターでの活用拡大  
→仕組みと処遇の確立
- 日本人日本語教師の講師バンク拡充  
→非常勤日本語講師の確保
- 既に人材センターと繋がりのある日本の研修機関との連携強化  
→トヨタエンジニアリング  
・北九州国際技術協力協会(KITA)  
・日本生産性本部  
・日本能率協会 等  
→日本人専門家個人のみならず、専門家とのネットワークを有している企業との関係強化
- 地元日系企業・日本商工会など  
→講師依頼可能な関係の構築～訪日研修を通じた関係強化